

エッセイ

主催 / 藤沢市、藤沢市教育委員会

後援 / 神奈川新聞社、株式会社ジェイコム湘南・神奈川、レディオ湘南

協力 / 公益財団法人藤沢市みらい創造財団、一般財団法人藤沢市開発経営公社

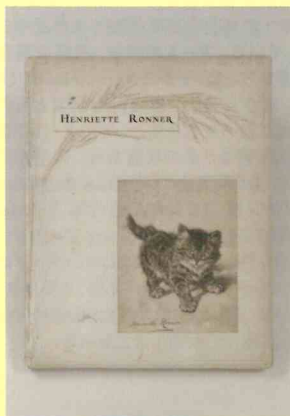


朝倉 暁 《スペードの女王》 2009年 藤沢市蔵

藤沢市アートスペース令和5年度 企画展Ⅲ
物語から見る
招き猫亭コレクションと
現代作家展
招き猫亭コレクション/couch



歌川 豊国
《七変化の内 女三宮 坂東三津五郎》
1811年頃 藤沢市蔵



アンリエット・ロナーニニップ
『アンリエット・ロナーの猫と子猫』
1894年(初版) 藤沢市蔵



couch 《寓話の寓話〈ウミネコ〉》2022年 作家蔵
撮影:木奥恵三 写真提供:NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]

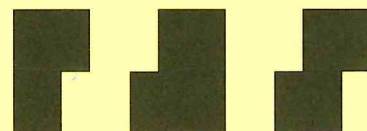
2024

2 / 2 (FRI)

3 / 24 (SUN)

10:00 - 19:00

(入館は18時30分まで)



藤沢市アートスペース
Fujisawa City Art Space

〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-2
Cocco Terrace湘南6階
TEL: 0466-30-1816

休館日	月曜日、2月13日(火) (ただし2月12日は開館)
観覧料	〈一般〉200円(100円) 〈高校・大学生〉100円
※()内は10名以上の団体料金 ただし、中学生以下の方、障がい者手帳をご提示の方とその介助者1名は無料です。	

[関連イベント]

1.アーティストトーク・銅版画のデモンストレーション

【要事前申込み】

招き猫亭コレクションに作品が蒐集されている生田宏司氏をお招きし、メゾチントという銅版画の技法で作られたふくろうや猫をモチーフにした作品についてお話をお聞きします。また生田氏による銅版画のデモンストレーションを行い、実際の制作方法をご覧ください。

講師：生田宏司氏（銅版画家）

日時：2024年2月10日（土）14:00～15:30

定員：20名

会場：藤沢市アートスペース ワークショップルーム

参加費：無料（観覧会を観覧する場合は別途観覧料が必要です）

2.猫の日!猫の缶バッジプレゼント

2月22日の猫の日にちなみ、観覧会観覧者に「招き猫亭コレクション」の缶バッジをプレゼントします。

日時：2024年2月22日（木）10:00～

先着100名様限定。なくなり次第終了。

3.ワークショップ「描いて、付けて、遊ぼう、猫面!」

【要事前申込み】

FASで大人気のワークショップを本展でも実施します。

日時：2024年2月23日（金・祝）

①10:30～11:30 ②14:00～15:00

定員：各20名

会場：藤沢市アートスペース ワークショップルーム

参加費：300円（材料費）

4.アーティストトーク

現代作家couchが展示作品について解説します。

出演：couch（浅尾怜子+宮崎大樹）、担当学芸員

日時：2024年2月24日（土）14:00～15:00

会場：藤沢市アートスペース

展示ルーム1・2、レジデンスルーム

参加費：無料（ただし、観覧料が必要です）

5.ねこがいっぱいおはなし会

藤沢市総合図書館おはなし会ボランティアによる、ねこがでてる絵本や紙芝居などのおはなし会です。ぜひ親子でご参加ください。

日時：2024年3月2日（土）11:00～11:30

対象：幼児から

会場：藤沢市アートスペース ワークショップルーム

参加費：無料

6.ギャラリートーク

担当学芸員が展示作品について解説します。

日時：2024年3月10日（日）14:00～15:00

会場：藤沢市アートスペース

展示ルーム1・2、レジデンスルーム

参加費：無料（ただし、観覧料が必要です）

7.ワークショップ「うごく絵であそぼう」

【要事前申込み】

たった2枚の絵でできる、2コマアニメーションのおもちゃと一緒に作ってあそびましょう。ペン、色鉛筆、クレヨンなど、好きな画材を使って描いた小さな2つの絵が、2つの方法でうごき始めます。

講師：couch（浅尾怜子+宮崎大樹）

日時：2024年3月23日（土）14:00～16:00

対象：3歳～おとな（小学2年生以下は保護者同伴）

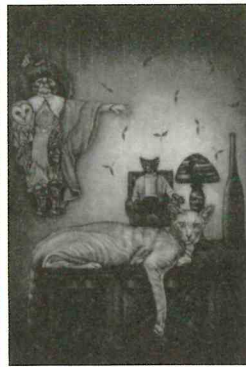
定員：16名

会場：藤沢市アートスペース ワークショップルーム

参加費：300円（材料費）

○申込み方法

1月25日（木）より電話（0466-30-1816）または直接来館してお申込みください。※一回の申込につき2名まで、定員に達し次第受付終了。



©ADAGP Paris & JASPAR Tokyo, 2023, Chagall/EGS40

本展のタイトル「ニャラティブ」は、猫の鳴き声と物語（ナラティブ）を掛け合わせた造語です。人々は、なにやら物言いたげな猫の表情や行動に想像力を膨らませ、猫にまつわる物語を数多く生み出してきました。みなさんも、作品から新たな物語を紡いでみませんか。

同時に、横浜を拠点に活動する現代作家のcouch（浅尾怜子+宮崎大樹）が新作を発表します。長年構想を温めてきたヤマネコの物語を、スリットアニメーション（ストライプ状のスリットを動かすことで絵が動いているように見える技法）を用いて展開します。

本展は、藤沢市所蔵の「招き猫亭コレクション」と現代作家の作品を、「猫」と「物語」をテーマに紹介する展覧会です。「招き猫亭コレクション」は、コレクターの招き猫亭氏が蒐集した猫にまつわる美術作品群です。その中から今回は、「源氏物語」の一場面を描いた浮世絵作品や、ラ・フォンテーヌの『寓話』の挿画としてマルク・シャガールやギュスターヴ・モローが手掛けた銅版画など、猫が登場する物語を描いた作品を展示します。また、本の装丁や、夢、家族など日常の中にある物語なども紹介します。

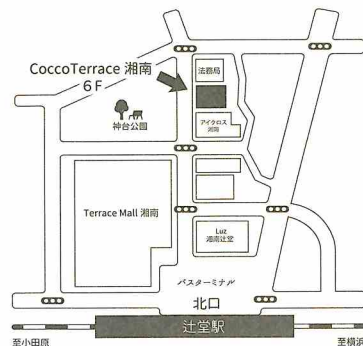


⑥

- ①楊州周延《二品親王女三宮》1890年 藤沢市蔵
- ②生田宏司《マリオネットのある部屋》1999年 藤沢市蔵
- ③マルク・シャガール《猫と2羽のスズメ「ラ・フォンテーヌの寓話」より》1952年 藤沢市蔵
- ④山本容子《Cheshire-cat》1994年 藤沢市蔵
- ⑤秀島由己男《春の城-87【連載小説「春の城」挿絵】》1998年 藤沢市蔵
- ⑥couch《Nevermore》2020年 作家蔵

couch (カウチ)

浅尾怜子・宮崎大樹によるアーティストデュオ。ものづくりの初源的・発見的方法を検証する作品やプロジェクトを展開している。アートの技法、説話や寓話に連なる現実的背景をもとに、インスタレーションや映像作品を制作する。現在は特に、実証的な現実とものがたりの中間の領域に語らせる方法としてのアートを試みており、ものがたりを語るための装置あるいは空間の可能性を追求している。主な展覧会に「Festival Scopitone 2017」(Stereolux / ナント、フランス / 2017年)、「Media Art Biennale WRO 2019」(WRO Art Center/プロツワフ、ポーランド/2019年)、「ICCキッズ・プログラム2022」(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC] / 東京/2022年)、「The 28th ifva festival」(Hong Kong Arts Centre/香港/2023年) などがある。



【電車】 JR「辻堂」駅 東口改札北口出口から徒歩5分
 【バス】 神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ
 FASに専用駐車場はございません。
 公共交通機関をご利用ください。

